

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 5月 9日

事業所名 音楽療法センター コスモス・キッズ

		チェック項目	はい	ともい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	7	1			コロナ禍でも対応できる人員体制を作っていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			・月一回定期ミーティングを実施している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1			定期的にミーティングを行い、業務の見直しをし、改善に努めたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		・事業所内にも掲示している	ホームページや事業所内で毎年公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1	1	・コロナ禍により難しい	今後は、吹田市の機関支援を利用していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・研修の機会多い	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		・わからない	職員全体に周知していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・好きな活動は継続して行いつつ、新しいことにも挑戦している ・毎回それぞれのセラピストが案を考えながら行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1			職員全体で認識を深めたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		・当日中に振り返りや共有が難しい場合は後日行うようにしている ・短時間で情報共有できている	常に職員間で支援について話し合いがしやすい職場環境にしていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・こまかく記録付けている ・毎回セッション後に記録し確認している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	1			職員全体に周知していきたい。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	5		・相談支援を介している	送迎を行っていない為、学校との連携の機会が少ないが、サービス担当者会議で、学校との情報共有に努めていく。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	4				現在は医療ケア児の受入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4		・わからない ・相談支援を介している		相談支援との連携を継続し、情報共有と相互理解に努めたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2		・わからない ・相談支援を介している		職員全体で認識を深めたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2		・コロナ禍で機会が減っている		吹田市の機関支援を利用していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6	1	・コロナでないかもしれない ・イベントで機会を作っている		コンサートなどのイベントを開催し、交流の場を作りたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	2	1	・児発管が参加している ・協議会に今後参加していきたい		自立支援協議会の情報を確認し、積極的に参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・セッション中に保護者とよく話している ・時間のある限り保護者と子供たちの様子や活動に対して話す機会を持っている		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4	1	・おそらくない ・保護者同伴なので個別に対応して個別に対応して支援につなげている		来所時に保護者の方と個別に関わり、支援に繋がる対応を丁寧に行っていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			・児発管より詳しく説明している ・個別支援計画に沿って説明している		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・いつも親身になってスタッフが話を聞いている ・なるべく保護者と話をする機会を持って		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	2	・コロナ禍により開催できてないが、グループ支援の際や交換ノートなどで保護者同士の交流を支援している。 ・父母の会はないが、グループの際保護者同士がよく話している ・コロナ禍で実施でき		グループ活動以外にも、ZOOMなどのオンラインも利用し、保護者の方が情報を共有できる機会を検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・苦情などが出た場合はミーティング等でみんなで共有している		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		・不定期だが会報を発行している ・年に数回発行している ・通信、ブログ、LINEで情報発信している		通信やブログLINEで、支援に役立つ情報を発信していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	8					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3		・コロナで難しい		今後もコンサートなどのイベントを開催し、地域の人との交流の場を作りたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			・詳しく説明があった	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		・ミーティング等で確認している	職員全体に周知していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		・研修あり	職員全体に周知していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2			職員全体に周知していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4	4	・食事の提供は行っていない ・提供していない ・食事は提供していない	食事の提供は行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		・ミーティング等で共有している	積極的にヒヤリハット報告書を書き職場全体で共有したい。